研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-760		19-017	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

J-curve association between alcohol intake and varicose veins in Japan: The Shimane CoHRE

アルコール摂取と静脈瘤には J カーブ型の関連がある：生活習慣病の予知予防に関する島根地域包括ケア教育研究センターでの研究（Shimane CoHRE Study）

執筆者

Kohno K, Niihara H, Hamano T, Takeda M, Nakagawa Y, Shiwaku K, Nabika T, Zöller B, Li X, Sundquist K, Sundquist J, Morita E.

掲載誌

J Dermatol. 2019 Oct;46(10):902-906. doi: 10.1111/1346-8138.15022.

キーワード	PMID
アルコール摂取、疫学、生活習慣、静脈瘤、静脈血栓塞栓症	31353631

要　旨

目的：

静脈瘤（Varicose Vein: VV）に対するアルコール摂取の影響は、その消費レベルごとでは明らかにされておらず、高齢者一般集団におけるアルコール摂取と VV の関連を調査した。

方法：

1,060 人の参加者で構成される the Shimane CoHRE study の研究データを横断的に分析した。統計解析は、多変量回帰分析を行い、調整変数は基本特性、過去の職歴、生活習慣に関連する因子、既往歴とした。

結果：

アルコール摂取量については、非飲酒者と比較して、軽度の飲酒者（<20.0 g/日）は有意に低い VV の調整オッズ比（aOR）（aOR = 0.64、P = 0.036）を示した。また、アルコール摂取頻度別では、常飲者（1〜5 日/週）は、機会飲酒者（<1 日/週）と比較した場合、VV の aOR は有意に低く（aOR = 0.57、P = 0.032）、VV とアルコール摂取には J 字型カーブが認められた。また、アルコール摂取量レベルでの層別解析にて、VV および喫煙の関連が中程度から大量飲酒者及び習慣的飲酒者で認められた。

結論：

本結果は、病態生理学的メカニズムの理解を深め、エビデンスに基づいた患者教育に活用可能である。